

## 「まちのちから」でよりよいまちづくり

「まちのちから協議会」は、新たな地域コミュニティとしてH25年3月に設立総会が開催され発足いたしました。この設立趣意書の目的は以下の5項目が取り上げられています。



- 1) 協議の場
- 2) まちのちからの醸成
- 3) 自助・共助・公助のまちづくり
- 4) 地域住民の主体の市制
- 5) 地域住民の生きがいがづくり、自己実現の場を創出する

これらに実現のために行政と地域が一体となってより良い地域づくりを進めていく協議体が「まちのちから協議会」です。

各地域には自治会をはじめいろいろな団体が専門的に活動し、地域の問題解決を進めていますが、より広い範囲で連携を図り、問題の共有、解決策の協議、行政への問題提起等を行うことにより、安心安全のまちづくりが推進されております。

協議会の構成は、自治会、社会福祉協議会、体育振興会、青少年育成推進協議会、民生委員・児童委員協議会、小中学校等が参加しており各団体との連携し地域活動を進めています。現在の活動内容は、市民のつどい、防災訓練、赤ちゃんサポート、広報紙発行等を行っています。

市民のつどい：日ごろの困りごとや疑問を目安箱に投入してもらい、行政に民意を反映していく体制で、行政と市民の協議の場となっています。

防災訓練：小中学校3か所で行われ、消火器取り扱い、起震車体験、応急手当等災害時に知っておくべき基本事項の的訓練を行っています。

すこやか赤ちゃん：子育てをしているお母さんたちを応援する事業で、子育てに関するいろいろな専門家の指導者も受けています。

広報紙発行：3回／年発行し、各団体の活動状況報告を行っています。

まちのちから協議会は市と地域との連携により問題解決を図る仕組みであり一人でも多くの方の参加することにより、より良い地域づくり推進の力となります。これからも協議会のご理解とご協力をお願いいたします。



すこやか赤ちゃんサポート